

撮影環境改善に関する実務者懇談会

ロケ誘致策の課題検証

取り組むべき課題

- ▶ 国内の情報発信強化、国内のスタッフの教育、海外のプロデューサーが日本を理解しやすい環境の整備
- ▶ ラインプロデューサーを中心にスタッフへの教育（海外式の予算透明化）、語学の壁への対応
- ▶ 日米での商習慣の差を埋める、双方の期待値の認識を一致させる、ガイドラインの作成
- ▶ 大規模撮影を可能にするため、撮影許可により強い効力を持たせる
- ▶ フィルムコミッション窓口の強化と立場の向上

海外作品が日本に撮影に来る理由

- ▶ ストーリー設定が日本であること。経済規模が大きい上に、日本に対して持つ文化的な興味が世界に強くある
(Tokyo Vice, Fuller House, People Just Do Nothing)
- ▶ 日本独自のロケーションが必要とされる。(Equals安藤建築、Snake Eyesお城やお寺など, Earthquake Bird)
- ▶ 日本の俳優が多数出演する。(Tokyo Vice)

日本のストーリー設定だが日本で撮影を行わない理由 (SHOGUN, PACHINKO, BULLET TRAIN)

- ▶ 海外で日本設定を作り込んで撮影を行う方が効率が良い、また大箱の撮影スタジオもある（イギリス/カナダ/ニュージーランド/タイの映像産業が大成長）
- ▶ 海外のタックス・インセンティブが制作予算を大きく支えている現実（直接投資額の15-20%）
- ▶ 北米やヨーロッパ在住の日系やアジア系でキャスティングがまかなえる（英語が重要）
- ▶ 大規模撮影を行うロケの許可がおりにくい、大掛かりなことができる保証が事前にはっきりしない、ミッションインポッシブルの撮影は行えるか？
- ▶ US/UK基準のルールや働き方、それに基づいた予算組み、人材の教育、海外チームと共同作業が確立されていない（Giri Haji）
- ▶ 日本が抱える予算/会計の不透明性、承認システムがないこと（Tokyo Vice）
- ▶ 情報発信力の不足（制作会社/スタッフ/キャスト情報などを登録制で発表できるか）（IMDB）
- ▶ 今後、VFXやバーチャルプロダクションの技術の進化が日本撮影の妨げになる可能性

- ▶ 海外の制作サイドの期待値を理解する
- ▶ 制作会社とプロダクションサービスカンパニーの違いを認識して埋め合わせを行う

業界内での商習慣の差

- ▶ 制作委託料の考え方の違い
- ▶ 予算立て、予算管理&コストレポート、承認システム
- ▶ 予算オーバー / アンダーの考え方
- ▶ 各種ペーパーワーク

- ▶ 日本側がガイドラインを持つことで作業プロセスの透明化
- ▶ プロセスにUS・UK基準の導入（役割分担/会計/承認）
- ▶ 基準導入のために、海外式に必要な役割と仕事内容のリストアップ

海外作品対応のガイドラインの 作成とスタッフ教育

- ▶ ムービーマジック予算・コストレポート・会計システム・承認システム
- ▶ 安全管理（ヘルス&セイフティ・オンセットメディック）
- ▶ サステナビリティ・ハラスメント / 汚職防止トレーニング
- ▶ E&O保険・キャストカバレッジ

データベース作成

- ▶ 俳優情報（日本版英Spotlight、米Actors Access、Casting Networks）
- ▶ プロデューサー・監督・脚本家（ATL）
- ▶ メインスタッフ、バイリンガルスタッフ（BTL）
- ▶ 制作会社・プロダクションサービス・各機材レンタル・衣装・メイクなど各業者情報
- ▶ 撮影スタジオ（サイズ・料金・都心からの移動時間）
- ▶ 統一化されたシンプルな全国ロケ地情報ライブラリー

海外作品への実務対応に関して

- ▶ ポジションに専任性を持たせる。それぞれの担当の仕事を細分化して、役割と責任を明確化する。コミュニケーションをスムーズにする。
- ▶ 予算算出段階で仕事のボリュームを理解して、必要な人員の確保、相手のプロデューサーが期待する仕事内容を予算組みの段階から明確にする。透明性の確保が重要。
- ▶ 意思決定までにビジュアルイメージを持った資料がより多く必要。経験値を持ったスタッフを適切に配置する必要あり。
- ▶ 大規模撮影には十分な経験を持ったロケーション専任担当が複数人必要。
- ▶ 海外から来たメインスタッフに日本人の助手を付ける際は、助手レベルではなくメインスタッフのレベルが必要になる。
- ▶ 200-300人規模の大規模撮影の場合は、警察・消防には特別な対応をしてもらう必要がある。手続きの時間に余裕を持ち、FCとの連携を早くから行う。
- ▶ 日本スタッフの労働が過度になりがちで、明確ルールで守られている海外スタッフとの格差から不満がでることが多い。